



# 取扱説明書

## SLIM LIFT

### スリムリフト・ボールネジタイプ

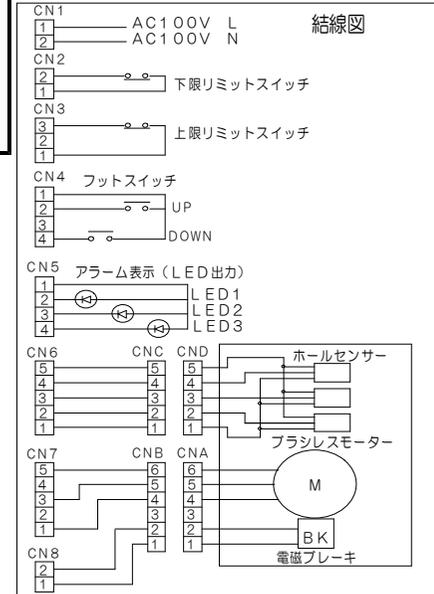
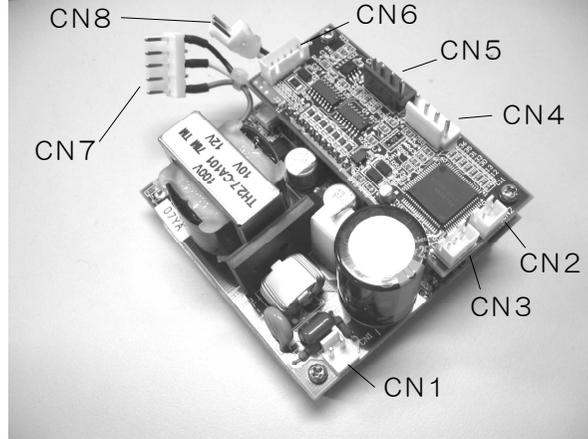
HLEB-10-2007, 2507, 3007 10-2009, 2509, 3009 20-2108, 2508, 3008

この度は、スリムリフトをお買い上げ頂きましてありがとうございました。  
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

- 注意**
- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
  - 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
  - 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
  - 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

### 仕様

型式	許容荷重	テーブル寸法 W×L (mm)	テーブル高(mm) MIN~MAX	上昇時間 (秒)	モーター出力 (w)	自重 (kg)
HLEB-10-2007	100kg	200×700	80~580	12	70	20
HLEB-10-2507	100kg	250×700	80~580	12	70	21
HLEB-10-3007	100kg	300×700	80~580	12	70	22
HLEB-10-2009	100kg	200×900	80~730	15	70	30
HLEB-10-2509	100kg	250×900	80~730	15	70	31
HLEB-10-3009	100kg	300×900	80~730	15	70	32
HLEB-20-2108	200kg	210×800	110~620	22	70	60
HLEB-20-2508	200kg	250×800	110~620	22	70	62
HLEB-20-3008	200kg	300×800	110~620	22	70	64



### 品質保証書

お買い上げ日より**1年以内**もしくは**可動回数4万回以内**に正常な状態で使用して故障し、弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

お買い上げ年月日	年	月	日
型番	HLEB-	-	
お客様	ご住所		
販売店	お名前		
	住所	様	
	店名		
	TEL		

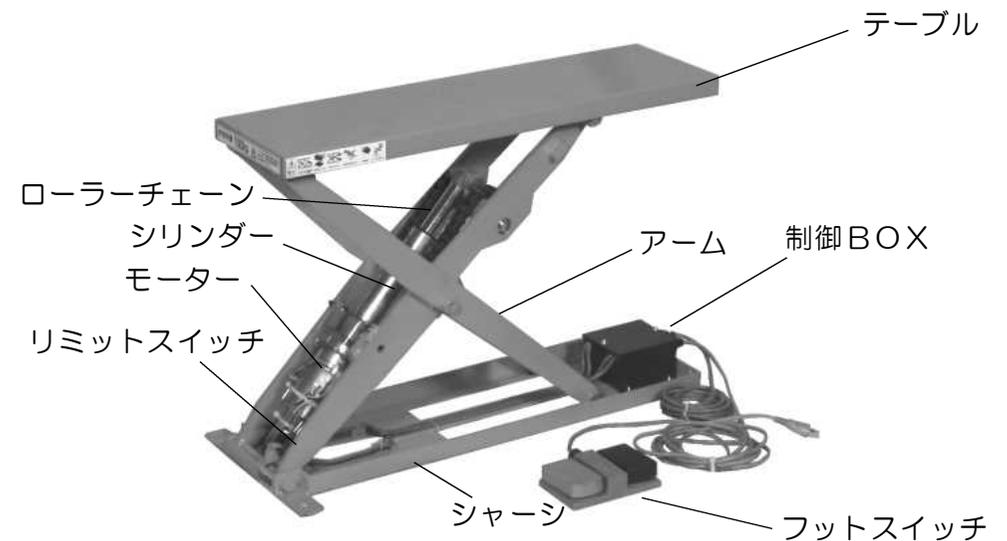
#### <無料修理規定>

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。  
なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。  
(イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。  
(ロ) 組立・取り付け不備による故障、及び損傷。  
(ハ) お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。  
(ニ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。  
(ホ) 本書の提示がない場合。
5. 日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社** お客様相談室 ☎ **0120-509-849**  
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号 E-mail: [techno.center@trusco.co.jp](mailto:techno.center@trusco.co.jp)  
<http://www.orange-book.com/>

## 1 各部の名称



## 2 据付

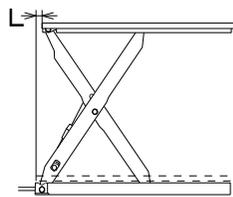
- シャーシには、転倒防止用の取付穴（4-φ12）があいていますので、頑丈で水平な面にアンカーボルトで固定してください。
- テーブルの四隅の高さの差はテーブル長さの1%以内です。**水平ではありません。**
- 屋内に据え付けてください。（塵埃の少ない、水、蒸気のかからない場所）
- 周囲温度 0~40℃ ●周囲湿度 85%以下 ●高度 1000m以下
- スプリングバック  
リフトした状態で台車等が相手側に乗り移ると、リフトに掛かる負荷が軽くなり、スプリングバックでテーブルが少し持ち上がります。スプリングバックを嫌う場合には、スプリングバック防止装置を付けてください。

- 危険**
- 運搬、設置、配管、配線、保守、点検、は専門知識と技能を持った人が実施してください。感電、けが、火災、装置破損のおそれがあります。
  - 爆発性雰囲気中では使用しないでください。

### ●テーブルのズレ

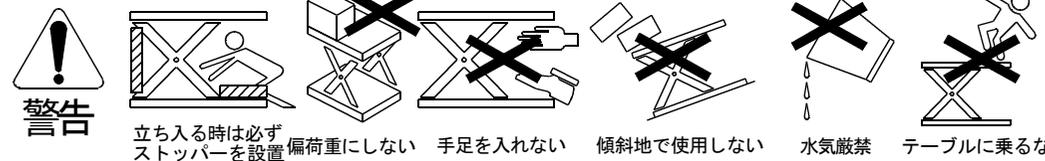
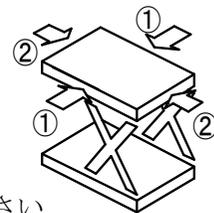
このリフトは極限まで下降高さを低くしている為にテーブルが上昇するにつれて水平方向ローラー側にズレが生じます。ズレは最高位で最大になります。(右表参照)

機種別最大ズレ量	
型式	L (mm)
HLEB-10-※※07	23.1
HLEB-10-※※09	22.5
HLEB-20-※※08	27



## 3 安全上の注意事項

- リフターを運搬される場合は、テーブルを下限まで降ろし、シャーシ底部にロープを掛けて吊り上げるか、フォークリフトでシャーシ底部をすくい、**水平に運搬**してください。倒さないでください。
- アンカーを打つなどして、**しっかりと固定**してください。
- 許容荷重**以上は載せないでください。
- 屋内専用**です。屋外には設置しないでください。
- 傾斜地**では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 子供**にさわらせないでください。
- 積載物の移載時の許容荷重は右図の①は**1/4**②は**1/2**で設定してください。
- 荷物の急降下を避けるために、リリースハンドルは**ゆっくり**回してください。
- 改造**してのご使用はおやめ下さい。やむをえず、改造される場合はご相談下さい。
- 積み荷はテーブル面からは**み出ない**ように、又**片荷**や**集中荷重**にならない様均等に荷積みしてください。(テーブル面のほぼ中央の2/3以上を覆うこと)
- テーブルの四隅の高さの差はテーブル長さの**1%**以内です。水平ではありません。
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に**手足を入れない**でください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を設けてください。
- ピットにリフトを入れる場合には、湧き水や雨水が流れ込み**感電**のおそれがあります。排水設備・点検用のスペースを確保してください。
- 長期間使用しない時や、メンテナンス時には必ず**電源を切**ってください。
- 溶接作業を行う場合には基板等の**電気部品を全て外**してください。
- 本機は防水仕様ではありません。**水気**のある雰囲気で使用しないでください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。

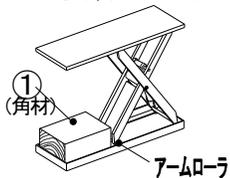


## 4 保守・点検時の下降防止安全対策

- 保守・点検などリフト内に入るときは、テーブル上の荷物や治具を降ろし電源を切り、下降防止ストッパーを設置して、テーブルやアームが下降して手足を挟まないように安全対策を施してください。ストッパー等を設置しないとテーブルが下降して死亡災害のおそれがあります。

- 1, テーブル上の荷物や治具を降ろし、上昇させてください。
- 2, シャーシのアームローラーにストッパー(角材)①を噛まし、アームが下降しない様にしてください。

※ストッパー(角材)①等はお客様でご用意ください。

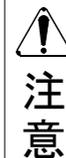


## 5 操作方法

- 1, 電源コードを電源(単相 AC100V、電流容量 5A 以上)に接続してください。
- 2, フットスイッチの”UP”を踏むと上昇し、放すと停止します。
- 3, フットスイッチの”DOWN”を踏むと下降し、放すと停止します。
- 4, 上限・下限に達したらリミットスイッチの働きで自動的に停止します。

・シーケンサ等で制御する場合

お客様で改造するときには、次のページにある結線図を参考にしてください。必ずドライ接点で入力してください。ただし、シーケンサに**接続可能部はフットスイッチのUP・DOWNのみ**です。



注意

- 1, 規定の最大使用頻度を超えないよう十分余裕をもってご使用ください。
- 2, 昇降スタート時、停止時に電磁ブレーキの開閉音(カッ)がしますが異常ではありません。
- 3, 上限・下限に達したら速やかにスイッチを離してください。アラームの原因になります。
- 4, 上昇端・下降端のリミットスイッチは出荷時に限界値で設定してあります。調整する場合は限界値を越えないように注意してください。限界値を越えすと破損の原因になります。

## 6 アラーム(警報)表示

マイコンに依り常に安全をチェックしています。万一、異常を検知するとフットスイッチのランプを点灯させて異常箇所を知らせます。アラーム表示が出ましたら直ちに運転操作を止めて原因を調査の上、対策を行ってください。



<リセット方法>

- ・アラーム1~4: 反対側のフットスイッチを押すと解除できます。
- ・アラーム5, 6: 電源を切ると解除できます。

[ ○-点灯 ●-消灯 ]

- 1: ●● ○-上昇側電流検出(過負荷・上限リミットスイッチ不良等により、上昇中にモーターに過電流が流れた。)
- 2: ●● ○-下降側電流検出(過負荷・下限リミットスイッチ不良等により、下降中にモーターに過電流が流れた。)
- 3: ●● ○-上昇不良(何らかの原因で上昇しなかった。)
- 4: ○● ●-下降不良(何らかの原因で下降しなかった。)
- 5: ○● ●-リミットスイッチ異常(破損等により上下限のリミットスイッチが同時にONしている。)
- 6: ○○ ○-センサー異常(ホールセンサーの異常)
- 7: ○●●● → ●○●● → ●●○○ 繰り返してフットスイッチ異常(電源投入時スイッチが入った状態になっている)

制御基板上のLEDは電源が入ると点灯する物です。電源を切っても残留電気によってしばらく点灯しております。

## 7 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、内部を点検するときは前記の下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

日常点検	定期点検(稼働時から1ヶ月、3ヶ月及び1年毎)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■リフトの昇降動作に異常はないか。</li> <li>■周囲に傷害物はないか。</li> <li>■本体外観上に異常はないか。</li> <li>■異常音や異常発熱はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。</li> <li>■可動部に異常摩耗はないか。</li> <li>■溶接部の亀裂や破損はないか。</li> <li>■電気配線等に亀裂や破損はないか。</li> <li>■ローラチェーンにグリースを塗布してください。</li> </ul>

※ドライシリンダーのギヤ部とボールねじ部には長寿命グリースを封入していますから、補給なしで長時間安心してご使用頂けますが、1年を目安にオーバーホールを実施して頂くか、ドライシリンダーを新品に取り替えてください。

## 検査合格証

本機は下記の検査項目に合格しております。

- (1) 使用上有害で大きな、きず・ひずみ・ひび等のないこと。
- (2) 指定通りの塗装色であり、有害な塗装欠陥のないこと。
- (3) 溶接面に目視できる有害な溶接欠陥のないこと。
- (4) 無負荷時、支点側で最低位・最高位が規定の±2 mm以内であること。
- (5) 負荷時、無負荷時ともに昇降動作に異常が無いこと。
- (6) 最大積載荷重を負荷して最高位から最低位まで昇降させた後、荷重を取り除き各部の異常がないこと。
- (7) 最大積載質量を負荷し、上限・下限ともリミットスイッチが正常に働くこと
- (8) 最大積載質量を負荷し、自然降下がないこと。
- (9) 製造番号等ラベルが所定の位置に貼り付けられていること。